

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.30					2.6
1 音環境		3.5	0.15	-	-			3.5
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.8	0.40	-	-			
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能	事務エリア防火区画壁は石膏ボード2枚貼り+GW敷込	5.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音	事務エリア床はタイルカーペット敷き、天井は不燃石膏ボード貼り	4.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		1.2	0.35	-	-			1.2
2.1 室温制御		1.5	0.50	-	-			
1 1 室温		1.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.9	0.25	-	-			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 1 化学汚染物質	建材は全面的にF を使用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	喫煙スペースは外部階段踊場に設置し、分煙されている	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		2.6	0.40	-	-			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペース:21.39㎡	5.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-			
1 1 広さ感・景観	事務室天井高:2.7m	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-			
3 内装計画		1.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-			
1 1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水には塩ビライニング鋼管、汚水配管には硬質塩化ビニル管を使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性		3.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化を図り、地下室は無いため浸水の恐れが無い	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	事務エリアの階高は1F:3.8m、2F:4.5m(平均)を採用	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	LED照明を多用し、照明の効率化を図っている	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=61.4%	5.0	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
4 効率的運用		3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水ごまを採用し、節水型便器を用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.9	0.63	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	エコマークを取得した床タイル使用	3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質は発生しない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	基準を満たし、緑地を設け雨水が浸透する部分を設置	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車スペースを確保し、荷捌きスペースも設置	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	